

地域教育懇談会だより

郡山市教育委員会
平成27年1月22日(木)

本市教育委員会では、平成20年度より、各地区・地域公民館において、教育長及び教育委員会事務局職員による教育施策についての説明や、参加した保護者と地域の皆様との意見交換や協議を行う「地域教育懇談会」を開催しています。

今年度は、各家庭における子どもの教育や、各地域における子どもたちとのかかわりなど、家庭や地域の実態を踏まえた参考になる取組みをお聞きするとともに、その内容を開催地区以外の学校関係者や保護者の皆様とも共有したいと考えています。

緑ヶ丘地区「地域教育懇談会」を開催しました

学校教育の充実について

基本理念

「すべては未来を拓く子どもたちのために」

学校教育推進のための「五つの視点」

- 第一は、「どの子も思う存分学べる教育環境の整備・充実」
- 第二は、「総合的な応用力の育成」
- 第三は、「一人一人を大切にする教育の推進」
- 第四は、「体力・運動能力の向上」
- 第五は、「連携教育の推進」



全体会での質疑



小野義明 教育長

緑ヶ丘地区「地域教育懇談会」は12月1日(月)午後7時から緑ヶ丘中学校で開催されました。

当日は、緑ヶ丘第一小学校、緑ヶ丘中学校、尚志緑ヶ丘幼稚園、緑ヶ丘保育園の保護者や地域の

方々、教職員など、約60名の参加がありました。教育委員会からは小野義明教育長をはじめ、事務局職員が出席し、前半は、本市の教育行政について説明しました。

教育長は、一人一人の人権を尊重し、良さを引き出す「寄り添う教育」の重視等、学校教育推進のための「五つの視点」(右掲)について話をし、最後に、安積開拓の碑文「一尺を開けば一尺の仕合あり 一寸を壅すれば一寸の幸あり」を引用しながら「先人の開拓精神をもって、一步ずつ、一つずつ着実に取り組んでいきたい」とあいさつしました。

分科会 家庭におけるスマートフォンや通信可能なゲーム端末の使用について

後半は、参加者全員が6グループに分かれ、「家庭におけるスマートフォンや通信可能なゲーム端末の使用について」をテーマに、問題点や対応策について活発な意見交換を行いました。

緑ヶ丘地区の子どもたちの現状

- スマートフォンの使用時間が長い。
- パスワードで親が見られないようになっている。
- 小・中学生がコンビニに集まり、コンビニのWi-Fiで通信やゲームをしている。
- i-pod、ゲーム端末でもLINE等を利用している。
- 以前からネット上での悪口はあったが、スマートフォンだとそれがグループ化してしまう。
- 子どもは親よりも、スマートフォンの使い方を知っている。



分科会での協議

参考となる取組や意見がたくさん出されました

- 保護者がi-pod、ゲーム端末等によるネット利用の実態をしっかりと把握して、フィルタリングや使用時等のルール作りをする。
- スマートフォンで英語の発音を学習したり、LINEで友人を励ましたりする良い面もあるので、利便性を生かすための使い方を教える。
- 保護者も使い方を勉強し、早い段階から利便性や危険性について責任をもって教える。
- 普段から、スマートフォンのトラブルなど、何でも話し合える親子関係を築いておく。
- メールやり取りだけでなく、直接会って考えや気持ちを伝えあうことの大切さを教える。
- パスワードを保護者が設定するなど、子どものスマートフォンを保護者が管理する。
- 大人がマナーや使い方の模範を示す。